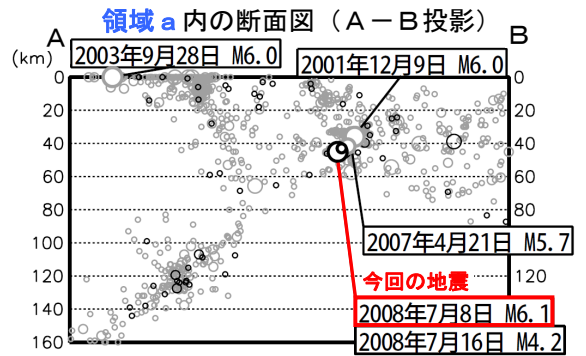
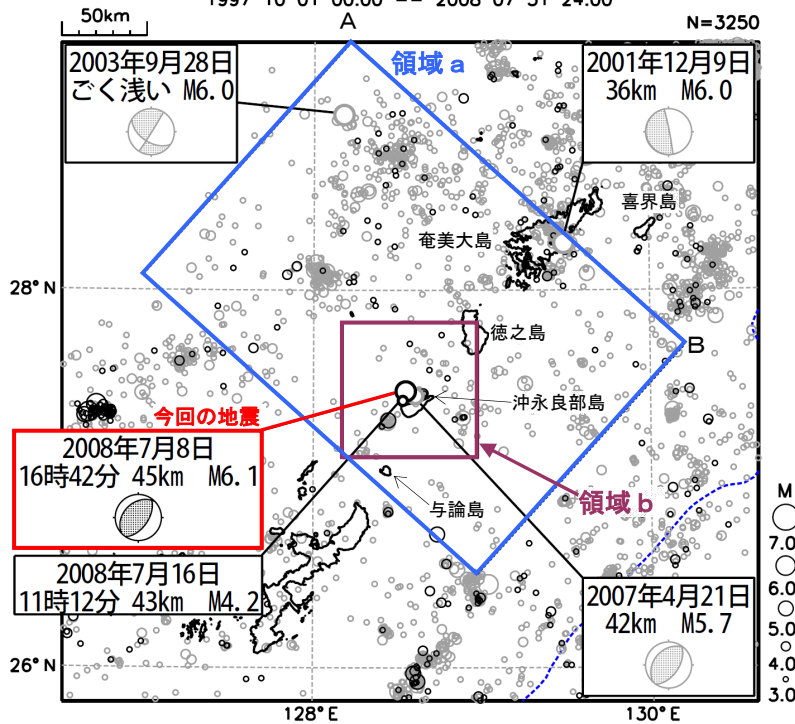


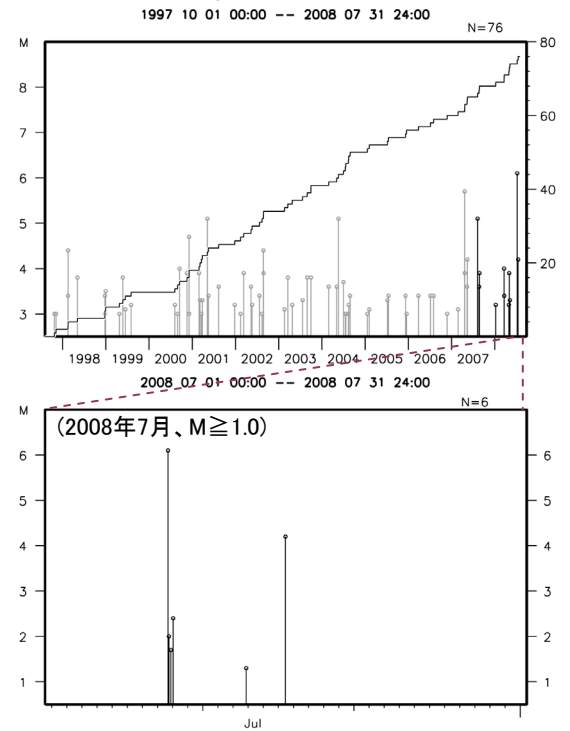
# 7月8日 沖永良部島付近〔沖縄本島近海〕の地震

[ ] 内は気象庁が情報発表に用いた震央地名

震央分布図 (1997年10月以降、深さ0~160km、M $\geq$ 3.0)  
2007年7月以降を濃く表示。発震機構解はCMT解。  
1997 10 01 00:00 -- 2008 07 31 24:00



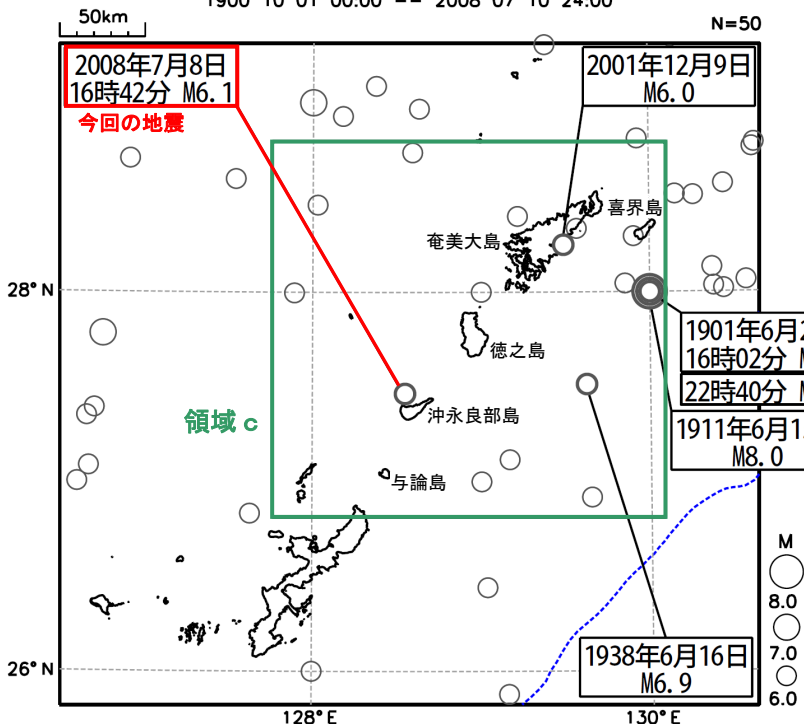
領域b内の地震活動経過図、回数積算図 (深さ30~50km)



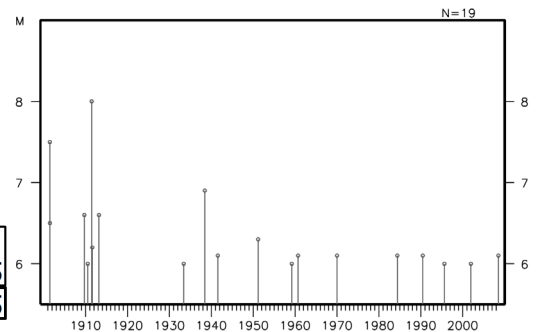
2008年7月8日16時42分に沖永良部島付近〔沖縄本島近海〕の深さ45kmでM6.1 (最大震度5弱)の地震が発生した。発震機構 (CMT解) は、北西-南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、フィリピン海プレートと陸のプレートの境界付近で発生した地震である。同月16日11時12分にM4.2 (最大震度2)の余震が発生した。

1997年10月以降の沖永良部島近海 (領域b) の地震活動を見ると、2007年4月21日のM5.7 (最大震度4)の地震など、M5.0以上の地震が時々発生している。

震央分布図 (1900年以降、深さ0~200km、M $\geq$ 6.0)  
1923年7月以前の地震の震源要素は宇津カタログによる。  
1900 10 01 00:00 -- 2008 07 10 24:00



領域c内の地震活動経過図、回数積算図  
1900 10 01 00:00 -- 2008 07 10 24:00



1900年以降の今回の地震の震央周辺 (領域c) での地震活動を見ると、1911年6月15日のM8.0の地震 (死者12名、家屋全潰422棟 (「理科年表」による)) など、M6.0以上の地震が10年に2回程度の割合で発生している。